第33回 定期演奏会

1983年12月17日(土)7時

於・尾崎市総合文化センター・アルカイックホール

神戸大学交響楽団

プログラム

◦「ニュルンベルグのマイスタージンガー」……ワーグナー
前奏曲

指揮　逢坂賢司
コンサートマスター　宮田知加子

◦カレリア組曲……シベリウス

Ⅰ Intermezzo
Ⅱ Ballade
Ⅲ Alla marcia

指揮　金洪才
コンサートマスター　大西正人

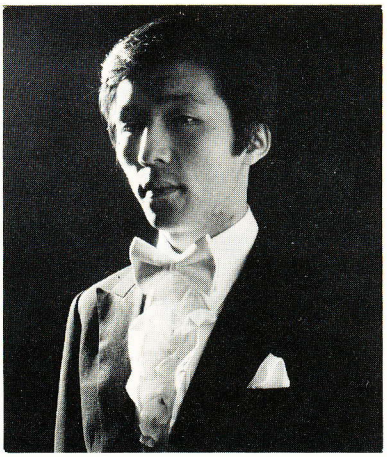
……休憩……

◦交響曲　第1番 ハ短調 作品68……ブラームス

Ⅰ Un poco sostenuto - Allegro
Ⅱ Andante sostenuto
Ⅲ Un poco Allegretto e grazioso
Ⅳ Adagio più Andante - Allegro non troppo, ma con brio

指揮　金洪才
コンサートマスター　大西正人

プロフィール



客演指揮　金（キム）　洪（ホン）　才（ジェ）

1954年10月10日、兵庫県伊丹市に生れる。5才よりピアノを古里澄子氏に師事。

1973年4月、桐朋学園大学音楽学部デュプロマ・コースに入学、指揮を堤俊作、小沢征爾、秋山和慶、森正諸氏に師事。

1978年3月、東京シティ・フィル特別演奏会でデビュー。

12月、桐朋学園オーケストラ第49回定期演奏会で指揮。

1979年9月、第14回民音指揮者コンクールで2位と初めての特別賞（斉藤秀雄賞）を合わせて受賞、注目を集める。

1979年10月、朝鮮民主主義人民共和国文化芸術部（文化省）の招きにより、祖国を訪問し、朝鮮国立交響楽団を指揮し、録音もした。

1979年5月、大阪フィルハーモニー交響楽団、1980年4月、九州交響楽団の〝朝鮮管弦楽特集〟演奏会で初演指揮し、大好評を博す。

1980年6月、テレビ番組「オーケストラがやって来た」400回記念新専属指揮者オーディションで2百数名の中からえらばれ、話題となる。

1981年1月、NTV日本テレビ系「私の音楽会」の専属指揮者にもえらばれる。

現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団正指揮者。

トレーナーの先生方

弦楽器

ヴァオリン・ヴィオラ	林　泉 先生	(神戸大学教育学部音楽科講師 林泉弦楽四重奏団主宰)
チェロ	近藤幸生 先生	(大阪フィルハーモニー交響楽団)
コントラバス	林　俊武 先生	(大阪フィルハーモニー交響楽団)

管楽器

木管	有馬博隆 先生	(甲陽学園教諭オーボエ奏者)
金管	小山　亮 先生	(京都市交響楽団ホルン奏者 同志社女子大学講師)

打楽器

北村祥一 先生（神戸大学交響楽団名誉トレーナー）